

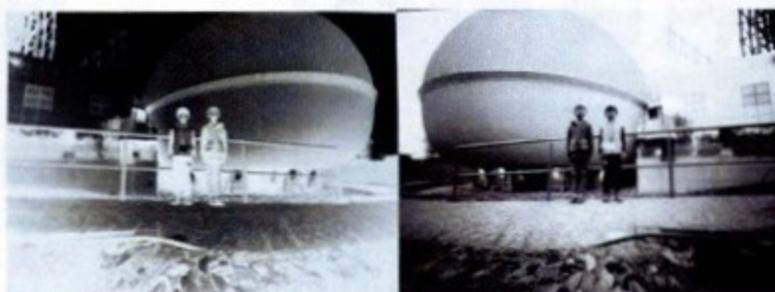
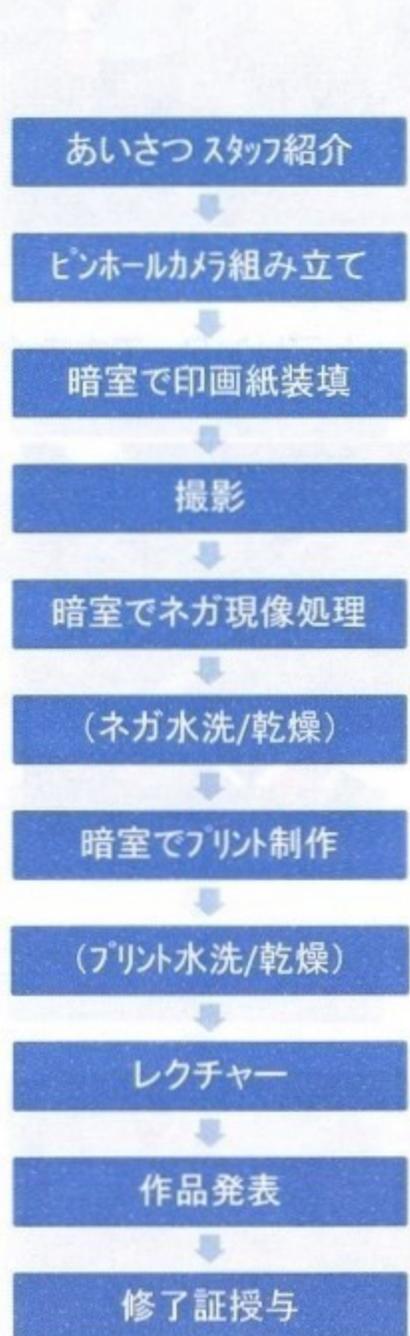
ピンホール写真体験教室

レンズを使用しない針穴だけのカメラを作り、白黒写真を作ります。自分の手でシャッターを開け閉めして撮影することと、黒白が反転したネガ画像をもとの画像(ポジ画像)にすることが体験できます。

光の性質を理解しながら写真体験ができます。撮影するごとに暗室に戻って撮影用印画紙を入れるので撮影できる数は限られます。

教室のながれ 所要時間2時間30分程度

撮影回数繰り返す



準備：必要な機材や消耗品は当方で準備します。

1. 暗室設営
2. 暗室機材(安全光、暗幕、パネル式出入口など)
3. 印画紙、現像処理液
4. ピンホールカメラキット
5. 電源延長コード
6. 教室用の部屋
7. 暗室用の部屋(理科室、図工室、会議室など)
8. 受講修了証にお名前を印刷しますので、可能な場合は事前に参加者氏名(よみがな)をご連絡ください。



現像やプリントは真っ暗な仮設暗室で作業しますが、安全光を点灯するので安心です。

ピンホール写真体験教室

1. ピンホールカメラの組み立て

当協会製の紙箱形ピンホールカメラを組み立てます。組み立てにはハサミやノリは使いません。ピンホール(針穴)は当協会が用意しています。



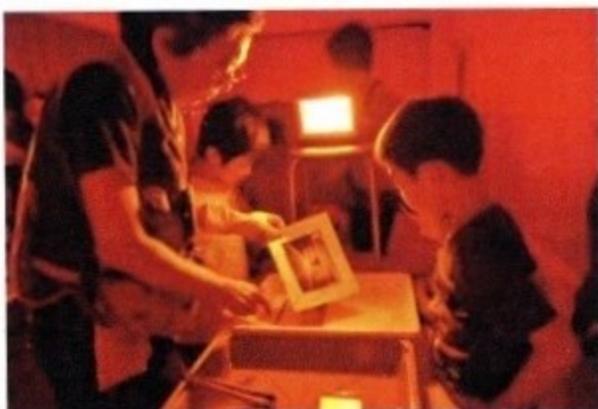
2. ピンホールカメラで撮影体験

暗室内でピンホールカメラに、黒白印画紙を入れて撮影に行きます。露光時間は晴天で15秒、曇天だと4~8分位です。撮影場所は限られますが、雨天での開催も可能です。



3. 暗室で印画紙を現像

撮影後は、暗室に戻り印画紙を現像液に浸して、ネガ画像(黒と白が反転した画像)を作ります。再度、暗室内で印画紙をもらい、2回目の撮影に行きます。撮影後はまた暗室に戻り、印画紙を現像します。



4. プリントづくり体験

暗室で特製の密着プリント用イーゼルにプリント用の六切サイズ印画紙を入れ、その上にネガ画像の印画紙を画像の見える方を下にして置き、懐中電灯で露光します。露光後は現像してプリントを仕上げます。



5. 写真のおはなし

写真の歴史、ものの映るしくみ等を説明し、ピンホールカメラの模型を使って、実際に画像が反転して映ることを学びます。また、撮影した写真を発表してみんなで話し合います。製作したピンホールカメラ、ネガ画像とプリント写真はお持ち帰り下さい。

